



# ウメモト インフォメーション



2020 年 8 月 21 日 担当者: 小松

(2020年5月の合成ゴム実績) (単位: トン, %)

	合成ゴム 合計	SBR	NBR	CR	BR	EPT	その他
生産	100,091	34,906	7,454	9,194	26,039	10,304	12,194
前年同月比	74.4	68.1	67.6	83.3	83.1	72.3	78.3
出荷	60,632	21,288	6,014	4,406	14,031	8,673	6,220
前年同月比	54.9	52.8	65.1	46.3	56.1	59.8	94.6
在庫	372,498	126,915	28,440	43,184	64,893	68,411	41,166
前年同月比	112.2	108.9	110.6	153.7	129.0	96.2	112.8

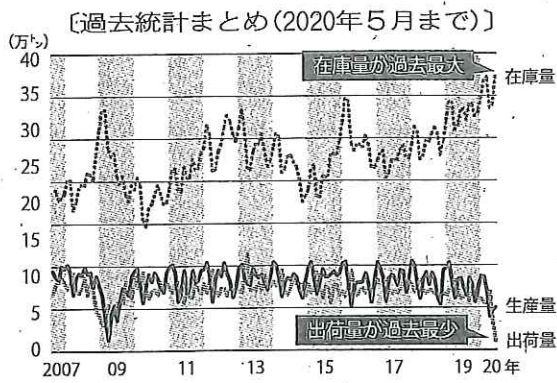
## 単月出荷量 5月最低

### 合成ゴム、コロナ直撃受け

合成ゴム工業がこのほど発表した2020年5月の合成ゴム実績で

は、コロナ禍の直撃で出荷が歴史的低水準に急減したことが明らかとなった。単月での合成ゴム全品種の出荷量合計は、記録を確認できた07年8月以降で最悪。リーマン・ショックの影響下の08年、09年も下回った。一方で、合成ゴム全品種の在庫量

は膨張を続けた結果、記録を確認できた13年間で最大の在庫量を各社は抱えている。業界は最小の出荷量と最大の在庫量の間で板挟みにある。5月単月の生産は前年同期比25・6%減となる10万91ト、出荷は同45・1%減となる6万632ト、在庫は同12・2%増となる37万2498トだった。出荷量はリーマン・ショック後でこれまで最悪だった09年2月の7万7950トを2割以上も下回った。出荷が絞られながらも在庫が



積み上がった結果、当月の在庫率は異例の高水準の614・4%に達した。『最悪の5月』との声は各社の決算会見でも出ていた。JSRの宮崎秀樹取締役常務執行役員は「当社の販売は5月が底で6月以降に回復傾向」と説明。日本ゼオンの松浦一慶取締役執行役員も「エラストマーは5月が底と認識している」と述べていた。

需要は緩やかな回復基調にあるという点で両社の見解は一致しており、今後のさらなる生産調整の必要性は会場で言及されなかった。合成ゴムは基本的に生産してから2年以上は商品価値が下がるため、在庫損失リスクは比較的小さい。そのため、出荷が前年比でほぼ半減した5月でも、生産は同15・30%程度の減少にとどまっている。

品種別の生産では、スチレンブタジエンゴム(SBR)は同31・9%減の3万4906ト、アクリロニトリルブタジエンゴム(NBR)は同32

・4%減の7454ト、クロロプレンゴム(CR)は同16・7%減の9194ト、ブタジエンゴム(BR)は同16・9%減の2万6039ト、エチレン・プロピレンゴム(EPT)は同27・7%減の1万304ト、その他は同21・7%減の1万2194トだった。CRの出荷は同53・7%減の4406トだった。コロナ禍に関連して手術用手袋などの需要の伸びも期待されていたが、自動車や接着剤、搬送ベルトなど幅広い産業分野での需要が縮小した影響を受けたとみられる。



# ウメモト インフォメーション



2020 年 8 月 21 日 担当者: 山本

## 脂肪酸の炭素水素結合をホウ素結合に変換

北大が新触媒

北海道大学の澤村正也教授らの研究グループは、脂肪酸の炭素水素結合を炭素ホウ素結合に変換する触媒を開発した。イリジウムを活性中心とする金属触媒で、末端のカルボキシ基から一定の位置にある炭素と結合した水素をホウ素に置き換

える。48時間の反応で転化率が99%以上。キラル制御も可能。脂肪酸の利用はこれまで末端カルボキシ基以外の変換に限られていた。ホウ素への変換により、さまざまな有用反応につながる可能性がある。成果は21日、米国科学誌「サイエンス」

に掲載された。触媒はカルボキシ基を捕捉する部位と距離調節

部位、活性中心の3カ所に分かれている。触媒とホウ素化試薬を溶媒に入れると、脂肪酸の末端カルボキシ基を触媒が捕捉、末端から4番目の炭素がもつ炭素水素結合を炭素ホウ素結合に置き換える。触媒にはキラル誘起効果もあり、異性体の生成割合は0・1%未満。室温で反応し、原料には多様な脂肪酸アミドやエステルが適用可能。触媒の距離調節部位の長さを変更することで目的となる炭素を変更できると見込む。脂肪酸は界面活性剤として利用されているが、今後の研究を通して原料としての脂肪酸応用が期待される。バイオマスにも多量に含まれる脂肪酸の原料利用が可能になれば環境面でも優れた化合物になる。

## 「脱プラ」コロナで揺らぐ

海洋汚染などの原因となるプラスチック製品の利用を減らす取り組みに新型コロナウイルスの感染拡大が影を落としている。使い捨てしやすい点が衛生的と再評価され、代替素材への置き換えが進まない。日本が7月に有料化したレジ袋もプラスチックごみの削減にすぎず、削減効果は限られる。

### 使い捨て製品 衛生的と再評価

月から10月に延期した。物産も4月、3・5%増と流の混乱で代替素材への移行が難しいことも理由に挙げた。欧州連合（EU）が2021年に発泡スチロール製の食品容器などの流通を禁じる方針に対しても見直しを求める声が出てい

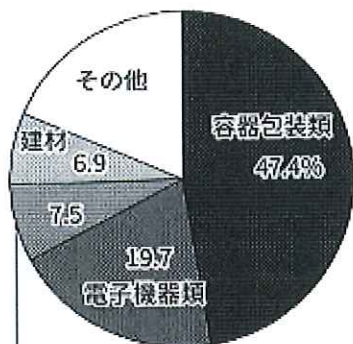
日本でもプラ製品を使うのをやめない外食店が目につく。「コロナ後の新しい日常に向け、使い捨ての役割を再評価する必要がある」。5月に経済産業省と環境省が開いた有識者会議では、日本プラスチック工業連盟の担当者が過剰な規制をけん制する場面があった。

経産省によると、さしみ皿や食品トレーを含む発泡製品の国内生産は4月に前年同月比6・7%増えた。その後5月は0・9%増、6月に0・3%減とほぼ横ばいが続く。

レジ袋など「包装用フィルム（軟質製品）」の国内

海洋汚染などの原因となるプラスチック製品の利用を減らす取り組みに新型コロナウイルスの感染拡大が影を落としている。使い捨てしやすい点が衛生的と再評価され、代替素材への置き換えが進まない。日本が7月に有料化したレジ袋もプラスチックごみの削減にすぎず、削減効果は限られる。

国内で出たプラごみの内訳



家庭用品、衣類など (出所)18年、プラスチック循環利用協会

経産省によると、さしみ皿や食品トレーを含む発泡製品の国内生産は4月に前年同月比6・7%増えた。その後5月は0・9%増、6月に0・3%減とほぼ横ばいが続く。

レジ袋など「包装用フィルム（軟質製品）」の国内

期待された代替素材にも黄信号がとれる。国連環境計画（UNEP）は生分解性プラスチックやバイオプラスチックの袋について、地球温暖化などの面で弊害が大きいとみる。バイオプラは石油起源の製品と混合され、埋めると温室効果があるメタンを発生させる。

政府は現時点でレジ袋以外の製品は業界の自主的な削減努力に委ねている。このままリサイクルや新素材の開発が進まなければ、プラ製品の利用はコロナ禍を機にさらに増えかねない。